

玉川学園K-12 社会地歴公民科・玉川大学教育博物館 共催

歴史に学ぶ

Hiroshimaからわたしたちへ

今、歴史は日本のわたしたちに何を問いかけようとしているのでしょうか。

2011年の東日本大震災は多くの教訓を残し、わたしたちはいま、次の世代へ伝える取り組みを各地で行っています。

世界で初めて原子爆弾が使用された広島では1945年8月6日からその教訓を残す取り組みが始まり、戦争の悲惨さや放射線研究に役立てられています。

67年経ったいま、広島の教訓は日本のエネルギー問題へつながり、Hiroshimaの教訓は核保有国が「核なき世界」をめざす未来へとつながり始めました。

歴史に学ぶ～過去の教訓を現代で見だし、未来へつなげて欲しい。

これからの日本を生きる若い世代へのメッセージです。

2012年1月

● 展 示 ●

被災資料 15点／写真／放射線測定体験

2012年 **1月16日**(月)～**2月10日**(金)

午前9時～午後5時[入館は午後4時30分まで] **入場無料**

休館日●土・日(1月21日(土)・22日(日))は臨時開館)

玉川大学教育博物館

交 通●小田急線玉川学園前駅より徒歩15分

主 催●玉川学園K-12社会地歴公民科

共 催●玉川大学教育博物館

協 力●広島平和記念資料館

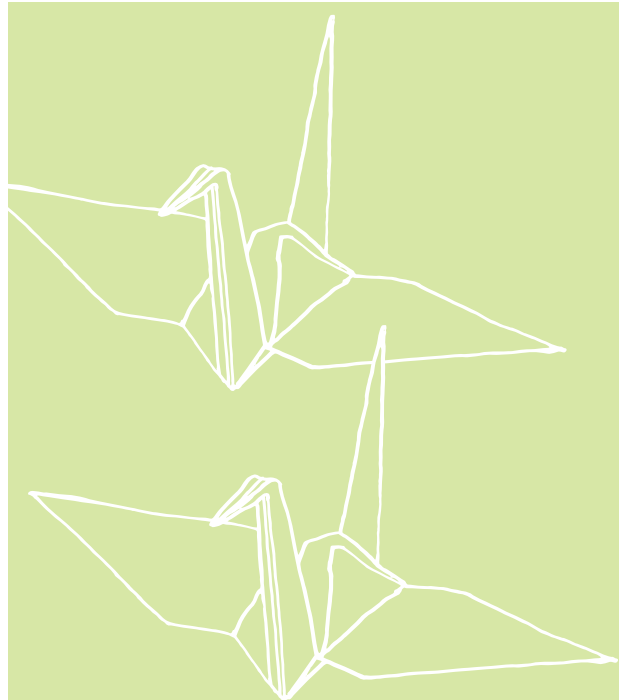
問合せ●玉川大学教育博物館

〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1

Tel. 042-739-8656

1月27日まで同時開催

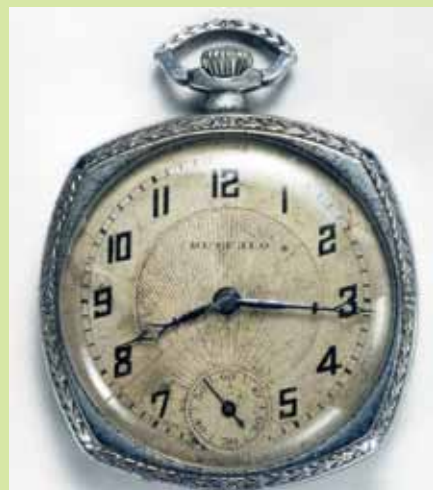
ミュージアム・コレクション展 2011



展示:広島県産業奨励館 東面
撮影:林 重男
提供:広島平和記念資料館



展示:広島県産業奨励館
撮影:川本俊雄
提供:川本祥雄



展示:懐中時計
所蔵:広島平和記念資料館
提供:渡邊美代子